

新年のご挨拶

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
専務理事 時田 喜代一

新年明けましておめでとうございます。令和7年の新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年もまた異常気象に見舞われた一年でした。地球温暖化が進む中、脱CO2対策の重要性が一層増しています。2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、すべての業界が努力を重ねることが求められています。また、SDGsに基づく持続可能な取り組みも急務だと考えますが、アメリカでは新大統領としてトランプ氏が再び就任し、カーボンニュートラルに後ろ向きな発言も出ています。異常気象がこれ以上頻発しないよう願うばかりです。

会員企業の皆様には、異常気象等の災害に対する企業存続のための事業継続計画（BCP）を策定し、実践していただくことが重要です。自然災害や予期せぬ事態に備え、各企業が持続可能な経営基盤を築くことを強く推奨いたします。

また、ウクライナやイスラエルの戦争が物資の輸送コストを押し上げています。その影響で、食料品や電気・ガス料金、ガソリン価格が高止まりし、家計に深刻な影響を及ぼしています。

トランプ大統領の政策により、グローバル経済や国際関係に多大な影響を及ぼすことが予想されます。その中で、国会には国民が暮らしやすい社会を実現するための具体的かつ実効性のある政策を策定していただきたいと考えます。

昨年の明るい話題は、MLBで大谷選手が50-50を達成しDH選任でのMVP受賞及び両リーグをまたいでの連続受賞は、MLB史上初の快挙でありました。新年度も日本のプロ野球からMLBへの挑戦をする選手がいますが、ぜひ活躍を期待したいものです。

最後になりますが、本年が皆様にとって実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。